

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【公表番号】特表2010-505933(P2010-505933A)

【公表日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-531919(P2009-531919)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

C 0 7 D 209/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/4035 (2006.01)

A 6 1 K 31/47 (2006.01)

A 6 1 K 31/438 (2006.01)

A 6 1 K 31/437 (2006.01)

A 6 1 K 31/472 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/407 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/454 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 33/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

C 0 7 D 209/44 (2006.01)

C 0 7 D 215/08 (2006.01)

C 0 7 D 491/113 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 7 D 471/10 (2006.01)

C 0 7 D 217/04 (2006.01)

C 0 7 D 491/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/404

C 0 7 D 209/08

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 31/47

A 6 1 K 31/438

A 6 1 K 31/437

A 6 1 K 31/472

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/407

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/454
 A 6 1 P 25/04
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/14
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 31/10
 A 6 1 P 33/00
 A 6 1 P 33/14
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 17/10
 C 0 7 D 209/44
 C 0 7 D 215/08
 C 0 7 D 491/113
 C 0 7 D 471/04 1 0 4 Z
 C 0 7 D 471/10 1 0 1
 C 0 7 D 217/04
 C 0 7 D 491/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月4日(2011.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 9 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 9 1 1】

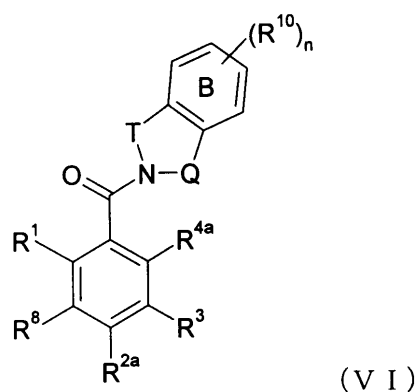
均等

上記の実施例は、本発明を説明する目的で記載したものであり、本発明の範囲を何ら限定するものではない。上記に記載し、また、実施例で示す本発明の特定の実施態様に対して、本発明の原理から逸脱することなく、多くの改変および変更をなし得ることは容易に明らかである。このような改変および変更は総て本願に含まれるものとする。

また、本発明によれば以下の発明が提供される。

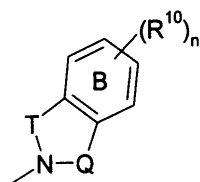
(1) 疼痛の治療用の薬剤を製造するための化合物の使用であり、当該化合物が、式 (V I) の化合物またはその塩、溶媒和物、互変異性体もしくは N - オキシドである使用：

【化 1 4 9】



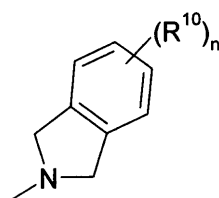
[式中、二環式基

【化 1 5 0】

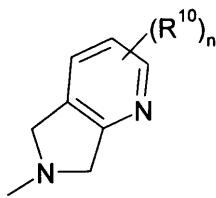


は、構造 C 1、C 5 および C 6

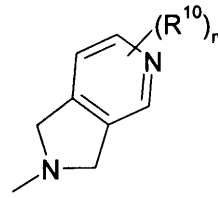
【化 1 5 1】



C1



C5



C6

から選ばれ、

式中、n は、0、1、2 または 3 であり；

 R^1 は、ヒドロキシまたは水素であり； R^{2a} は、ヒドロキシまたはメトキシ（好ましくは、ヒドロキシ）であり（ただし、 R^1 および R^{2a} の少なくとも一方はヒドロキシである）； R^3 は、水素；ハロゲン；シアノ； C_{1-5} ヒドロカルビルおよび C_{1-5} ヒドロカルビルオキシから選ばれ；ここで、 C_{1-5} ヒドロカルビルおよび C_{1-5} ヒドロカルビルオキシ部分はそれぞれ場合によりヒドロキシ、ハロゲン、 C_{1-2} アルコキシ、アミノ、モノ - およびジ - C_{1-2} アルキルアミノ、ならびに 5 ~ 12 環員のアリーールおよびヘテロアリーール基から選ばれる 1 種以上の置換基により置換されており； R^{4a} は、水素、フッ素、塩素およびメトキシから選ばれ； R^8 は、水素およびフッ素から選ばれ；かつ R^{10} は、

ハロゲン；

ヒドロキシ；

トリフルオロメチル；

シアノ；

ニトロ；

カルボキシ；

アミノ；

モノ - またはジ - C_{1-4} ヒドロカルビルアミノ；

3 ~ 12 環員を有する炭素環式基および複素環式基；ならびに

基 R^a - R^b から選ばれ、ここで、 R^a は、結合、O、CO、 $X^1C(X^2)$ 、 $C(X^2)X^1$ 、 $X^1C(X^2)X^1$ 、S、SO、 SO_2 、 NR^c 、 SO_2NR^c または NR^cSO_2 であり；かつ R^b は、水素；3 ~ 12 環員を有する炭素環式基および複素環式基；ならびにヒドロキシ、オキシ、ハロゲン、シアノ、ニトロ、カルボキシ、アミノ、モノ - またはジ - C_{1-8} 非芳香族ヒドロカルビルアミノ（例えば、モノ - またはジ - C_{1-4} ヒドロカルビルアミノ）、および 3 ~ 12 環員を有する炭素環式基および複素環式基から選ばれる 1 種以上の置換基により場合により置換されている C_{1-12} ヒドロカルビル（ C_{1-10} ヒドロカルビルなど）から選ばれ、ここで C_{1-12} ヒドロカルビル基（または C_{1-10} ヒドロカルビル基）の 1 個以上の炭素原子は O、S、SO、 SO_2 、 NR^c 、 $X^1C(X^2)$ 、 $C(X^2)X^1$ または $X^1C(X^2)X^1$ により場合により置換されていてもよく； R^c は、 R^b 、水素および C_{1-4} ヒドロカルビルから選ばれ；かつ

X^1 は、O、S または NR^c であり、 X^2 は、= O、= S または = NR^c である]。

(2) R^1 および R^{2a} がともにヒドロキシである、(1) に記載の使用。

(3) R^3 が水素、塩素、 C_{1-5} ヒドロカルビルおよび C_{1-5} ヒドロカルビルオキシから選ばれる、(1) または (2) に記載の使用。

(4) R^3 が水素、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニルおよび C_{3-4} シクロアルキル基、好ましくは、第二級アルキルおよびアルケニル基 (イソプロピル、sec-ブチル、tert-ブチル、1,2-ジメチルアリルおよび1,2-ジメチルプロピルなど)、またはシクロアルキル基 (シクロプロピルなど) から選ばれる、(3) に記載の使用。

(5) R^3 が水素、イソプロピルおよび tert-ブチルから選ばれる、(4) に記載の使用。

(6) R^4 が水素である、(1) ~ (5) のいずれかに記載の使用。

(7) R^8 が水素である、(1) ~ (6) のいずれかに記載の使用。

(8) R^1 、 R^{2a} 、 R^3 、 R^4 および R^8 が、表1の構造 A5、A7、A11、A13、A14、A15、A16、A17 および A18 のいずれか1つで示される通りであり、より好ましくは、構造 A5、A7、A13、A14、A15 および A17 のいずれか1つで示される通りである、(1) ~ (7) のいずれかに記載の使用。

(9) R^{10} が、ハロゲン、ヒドロキシ、アミノおよび基 $R^a - R^b$ (ここで、 R^a は結合、O、CO、C(O)O、C(O)NR^c、NR^cC(O)、NR^cC(O)O、NR^c、SO、SO₂、SONR^c および SO₂NR^c から選ばれ、 R^b は水素；5または6環員を有する炭素環式基および複素環式基；ならびにヒドロキシ、オキシ、アミノ、モノ-またはジ- C_{1-8} 非芳香族ヒドロカルビルアミノ (例えば、モノ-またはジ- C_{1-4} ヒドロカルビルアミノ)、カルボキシ、および3~7環員を有する炭素環式基および複素環式基から選ばれる1種以上の置換基により場合により置換されている C_{1-10} ヒドロカルビル (例えば、 C_{1-8} アルキルまたは C_{3-7} シクロアルキルなどの C_{1-8} ヒドロカルビル) から選ばれ、ここで、 C_{1-8} ヒドロカルビル基の1個以上の炭素原子はO、S、C(O)O、C(O)NR^c または NR^c により場合により置換されていてもよい) からなる群の R^{10a} から選ばれる、(1) ~ (8) のいずれかに記載の使用。

(10) R^{10} が、ハロゲン、ヒドロキシ、アミノおよび基 $R^a - R^b$ (ここで、 R^a は結合、O、CO、C(O)O、C(O)NR^c、NR^cC(O)、NR^cC(O)O、NR^c、SO、SO₂、SONR^c、および SO₂NR^c から選ばれ、 R^b は水素；5または6環員を有する炭素環式基および複素環式基；ならびにヒドロキシ、オキシ、アミノ、モノ-またはジ- C_{1-8} 非芳香族ヒドロカルビルアミノ、カルボキシ、および3~7環員を有する炭素環式基および複素環式基から選ばれる1種以上の置換基により場合により置換されている非芳香族 C_{1-10} ヒドロカルビルから選ばれ、ここで、 C_{1-8} ヒドロカルビル基の1個以上の炭素原子はO、S、C(O)O、NR^cC(O)、C(O)NR^c または NR^c により場合により置換されていてもよい) からなる群の R^{10aa} から選ばれる、(9) に記載の使用。

(11) n が0、1または2であり、かつ、 R^{10aa} がフッ素、塩素、ヒドロキシ、アミノおよび基 $R^a - R^b$ から選ばれ、

R^a が、結合、O、CO、C(O)NR^c、NR^cC(O)、NR^cC(O)O および NR^c から選ばれ、

R^b が、

水素；

5または6環員を有し、O、N および S から選ばれる0、1または2個のヘテロ原子を含む炭素環式基および複素環式基；

ヒドロキシ、オキシ、アミノ、モノ-またはジ- C_{1-8} 非芳香族ヒドロカルビルアミノ、カルボキシ、および3~7環員を有し、O、N および S から選ばれる0、1または2個のヘテロ原子を含む炭素環式基および複素環式基から選ばれる1種以上の置換基により場合により置換されている非芳香族 C_{1-10} ヒドロカルビル (ここで、 C_{1-8} ヒドロカルビル基の1個以上の炭素原子は、O、S、C(O)O、NR^cC(O)、C(O)NR^c

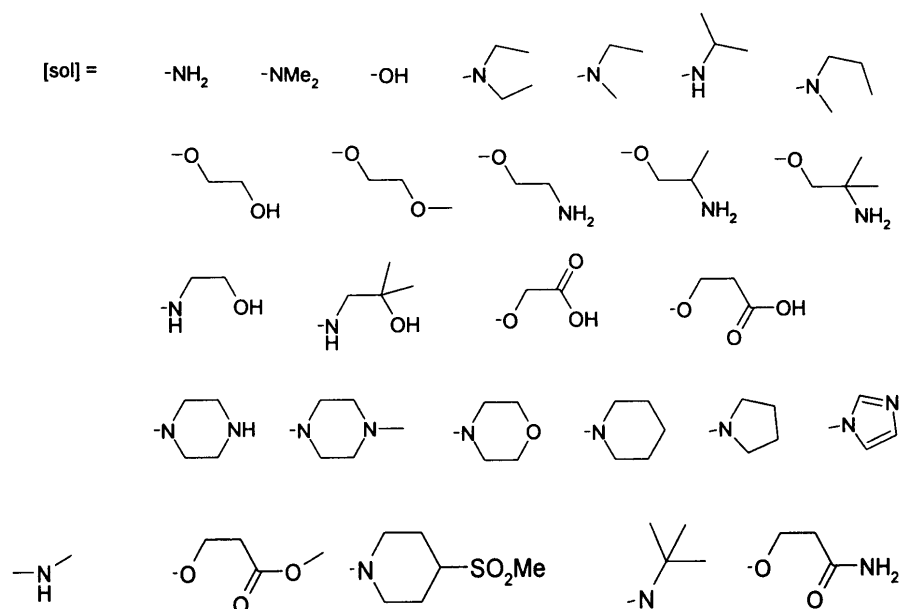
^c または NR^c により場合により置換されていてもよい)

から選ばれる、(10)に記載の使用。

(12) R^b が、5 または 6 環員を有し、O、N および S から選ばれる 0、1 または 2 個のヘテロ原子を含む、場合により置換されている非芳香族炭素環式基および複素環式基である、(11)に記載の使用。

(13) R^{10} が、ハロゲン、OH、 NH_2 、 CH_2OH 、 CH_2NH_2 、 $\text{O}-\text{C}_{1-6}$ - アルキル、 $\text{NH}-\text{C}_{1-6}$ アルキル、アリール、ヘテロアリール、 C_{3-7} シクロアルキル、ヘテロシクリル、 $\text{O}-\text{ヘテロアリール}$ 、 $\text{O}-\text{C}_{3-7}$ シクロアルキル、 $\text{O}-\text{ヘテロシクロアルキル}$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{C}_{1-6}$ アルキル、 $\text{C}(=\text{O})\text{OC}_{1-6}$ アルキル、 $\text{C}(=\text{O})\text{NH}_2$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{NHC}_{1-6}$ アルキル、 $\text{C}(=\text{O})\text{N}(\text{C}_{1-6} \text{ アルキル})_2$ 、 $\text{NH}(\text{C}_{1-6} \text{ アルキル})$ 、 $\text{N}(\text{C}_{1-6} \text{ アルキル})_2$ 、 $\text{NC}(=\text{O})\text{C}_{1-6}$ アルキル、 C_6 アリール、 OC_6 アリール、 $\text{C}(=\text{O})\text{C}_6$ アリール、 $\text{C}(=\text{O})\text{OC}_6$ アリール、 $\text{C}(=\text{O})\text{NH}_2$ 、 $\text{C}(=\text{O})\text{NHC}_6$ アリール、 $\text{C}(=\text{O})\text{N}(\text{C}_6 \text{ アリール})_2$ 、 $\text{NH}(\text{C}_6 \text{ アリール})$ 、 $\text{N}(\text{C}_6 \text{ アリール})_2$ 、 $\text{NC}(=\text{O})\text{C}_6$ アリール、 C_{5-6} ヘテロシクリル、 OC_{5-6} ヘテロシクリル、 $\text{C}(=\text{O})\text{C}_{5-6}$ ヘテロシクリル、 $\text{C}(=\text{O})\text{OC}_{5-6}$ ヘテロシクリル、 $\text{C}(=\text{O})\text{NHC}_{5-6}$ ヘテロシクリル、 $\text{C}(=\text{O})\text{N}(\text{C}_{5-6} \text{ ヘテロシクリル})_2$ 、 $\text{NH}(\text{C}_{5-6} \text{ ヘテロシクリル})$ 、 $\text{N}(\text{C}_{5-6} \text{ ヘテロシクリル})_2$ 、 $\text{NC}(=\text{O})\text{C}_{5-6}$ ヘテロシクリル、 $\text{C}(=\text{O})\text{NHC}_{1-6}$ アルキル、 C_{5-6} アリール、 $\text{S}(=\text{O})\text{C}_{1-6}$ アルキル、 $\text{S}(=\text{O})\text{N}-\text{C}_{1-6}$ アルキルおよび $\text{SO}_2\text{N}-\text{C}_{1-6}$ アルキル；ならびに基 [sol]、 $\text{CH}_2[\text{sol}]$ 、または $\text{OCH}_2\text{CH}_2[\text{sol}]$ からなる群の R^{10b} から選ばれ、ここで [sol] は以下の基：

【化 152】



から選ばれ、(i) R^{10b} は場合によりさらに基 $\text{OCH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2[\text{sol}]$ から選ばれ、かつ/または (ii) [sol] はさらに NHR^{11} (ここで、 R^{11} は COR^{12} または R^{12} であり、 R^{12} は C_{1-4} アルキル、アリールまたはアリール- C_{1-4} アルキルである) から選ばれる、(1) ~ (8) のいずれかに記載の使用。

(14) R^{10} が基 R^{10c} から選ばれ、 R^{10c} は基 [sol]、 $\text{CH}_2[\text{sol}]$ または $\text{OCH}_2\text{CH}_2[\text{sol}]$ であり、ここで [sol] は以下の基：

[sol] =

N CN O C1CCN1 CN(C)C CC(C)N CCN(CC)C

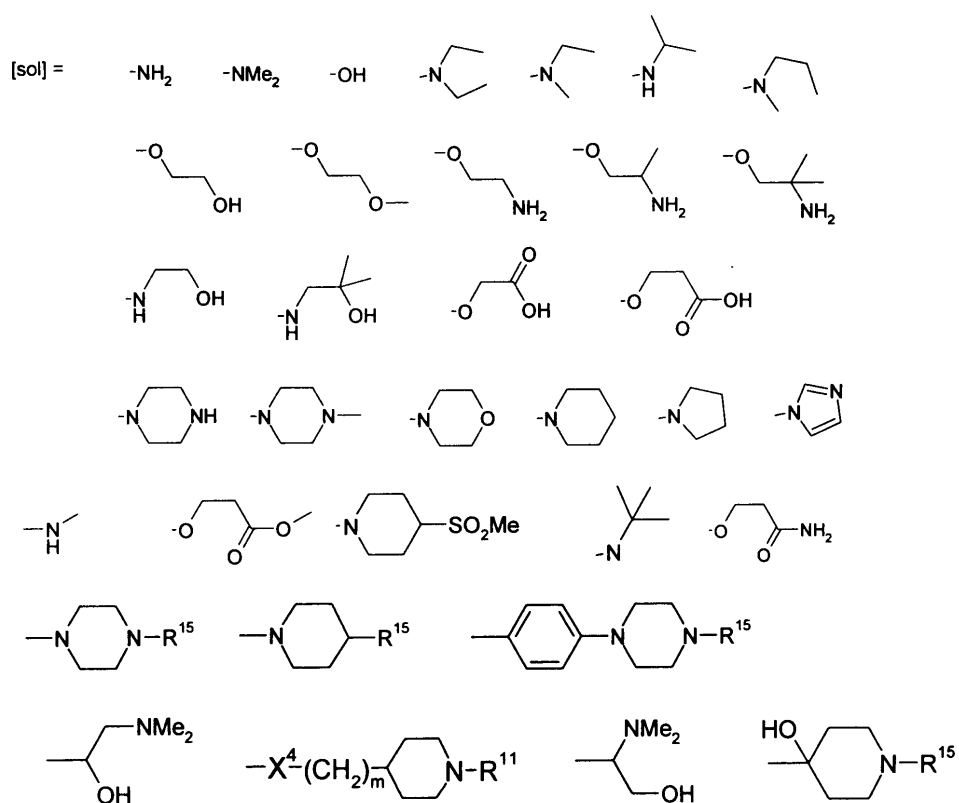
OCCO COCCOC OCCN CC(C)N CC(C)(C)N

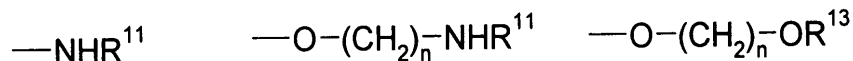
NCCO CC(C)(C)N OCC(=O)O CC(C)C(=O)O

C1CCNCC1 C1CCN(C)CC1 C1CCOCC1 C1CCNCC1 C1CCNCC1 c1ccncc1

CN(C)C CC(C)C(=O)OC C1CCN(C)CC1S(=O)(=O)C CC(C)(C)N CC(C)C(=O)N

【化 1 5 4】





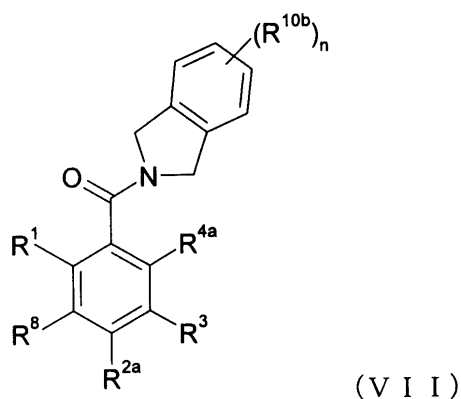
から選られ、 X^4 はNHまたはOであり、 m は0または1であり、 n は1、2または3であり、 R^{11} は水素、 COR^{12} 、 C(O)OR^{12} または R^{12} であり； R^{12} は C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、アリール、アリール- C_{1-6} アルキルまたは CH_2R^{15} であり；かつ、 R^{15} は水素、 C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、ヒドロキシ- C_{1-6} アルキル、ピペリジン、 N-C_{1-6} アルキルピペラジン、ピペラジン、モルホリン、 COR^{13} または C(O)OR^{13} から選られ；かつ、 R^{13} は C_{1-6} アルキルである、(1)～(8)のいずれかに記載の使用。

(16) R^3 が、エチル、ならびに3～6個の炭素原子の第二級および第三級アルキル基からなる群の R^{3d} から選られる（ただし R^1 および R^2 がともにヒドロキシである場合、 R^{3d} はさらに水素からも選られ得る）、(1)～(15)のいずれかに記載の使用。

(17) 前記第二級および第三級アルキル基がイソプロピルおよびtert-ブチルから選られる、(16)に記載の使用。

(18) 前記化合物が、式(VII)：

【化155】

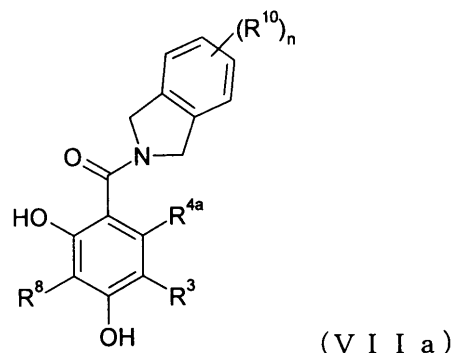


[式中、 R^1 、 R^{2a} 、 R^3 、 R^{4a} 、 R^8 および R^{10b} は(1)～(17)のいずれかと同義であり、 n は0、1、2または3（より好ましくは、0、1または2、例えば、0または1）である（ただし R^1 および R^{2a} の少なくとも一方はヒドロキシである）]で表される、(1)～(17)のいずれかに記載の使用。

(19) R^1 がヒドロキシである、(18)に記載の使用。

(20) 下記式(VIIa)の(1)に記載の使用。

【化156】



[式中、 R^3 は、水素、ハロゲン、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニルおよび C_{3-4} シクロアルキル基から選られ； R^{4a} は、水素、フッ素、塩素およびメトキシから選られ； R^8 は水素またはフッ素であり； n は0、1、2または3であり； R^{10} はハロゲン、ヒドロキシ、トリフルオロメチル、シアノ、ニトロ、カルボキシ、アミノ、モノ-またはジ- C_{1-4} ヒドロカルビルアミノ、3～12環員を有する炭素環式

基および複素環式基；基 $R^a - R^b$ から選ばれ、ここで R^a は、結合、O、CO、 $X^1 C(X^2)$ 、 $C(X^2)X^1$ 、 $X^1 C(X^2)X^1$ 、S、SO、 SO_2 、 NR^c 、 $SO_2 NR^c$ または $NR^c SO_2$ であり；かつ、 R^b は、水素；3～12環員を有する炭素環式基および複素環式基；ならびにヒドロキシ、オキソ、ハロゲン、シアノ、ニトロ、カルボキシ、アミノ、モノ-またはジ- C_{1-8} 非芳香族ヒドロカルビルアミノ（例えば、モノ-またはジ- C_{1-4} ヒドロカルビルアミノ）、および3～12環員を有する炭素環式基および複素環式基から選ばれる1種以上の置換基により場合により置換されている C_{1-12} ヒドロカルビル基（ C_{1-10} ヒドロカルビル基など）から選ばれ、ここで C_{1-12} ヒドロカルビル基（または C_{1-10} ヒドロカルビル基）の1個以上の炭素原子はO、S、SO、 SO_2 、 NR^c 、 $X^1 C(X^2)$ 、 $C(X^2)X^1$ または $X^1 C(X^2)X^1$ により場合により置換されていてもよく；

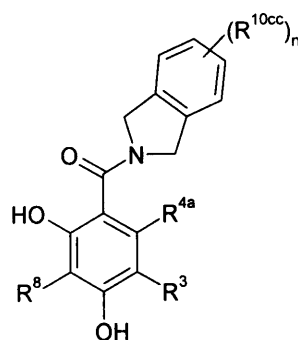
R^c は、 R^b 、水素および C_{1-4} ヒドロカルビルから選ばれ；かつ

X^1 は、O、Sまたは NR^c であり、 X^2 は、=O、=Sまたは $=NR^c$ である]

(21) R^{10a} が、(1)～(20)のいずれかに定義される基 R^{10a} または R^{10a} または R^{10b} または R^{10c} または R^{10cc} である、(20)に記載の使用。

(22) 下記式(VIIb)で表される、(21)に記載の使用。

【化157】



(VIIb)

[式中、 R^3 は水素、ハロゲン、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニルおよび C_{3-4} シクロアルキル基から選ばれ； R^{4a} は水素、フッ素、塩素およびメトキシから選ばれ； R^8 は水素またはフッ素であり；nは0、1、2または3であり；かつ、 R^{10cc} は、ハロゲン；

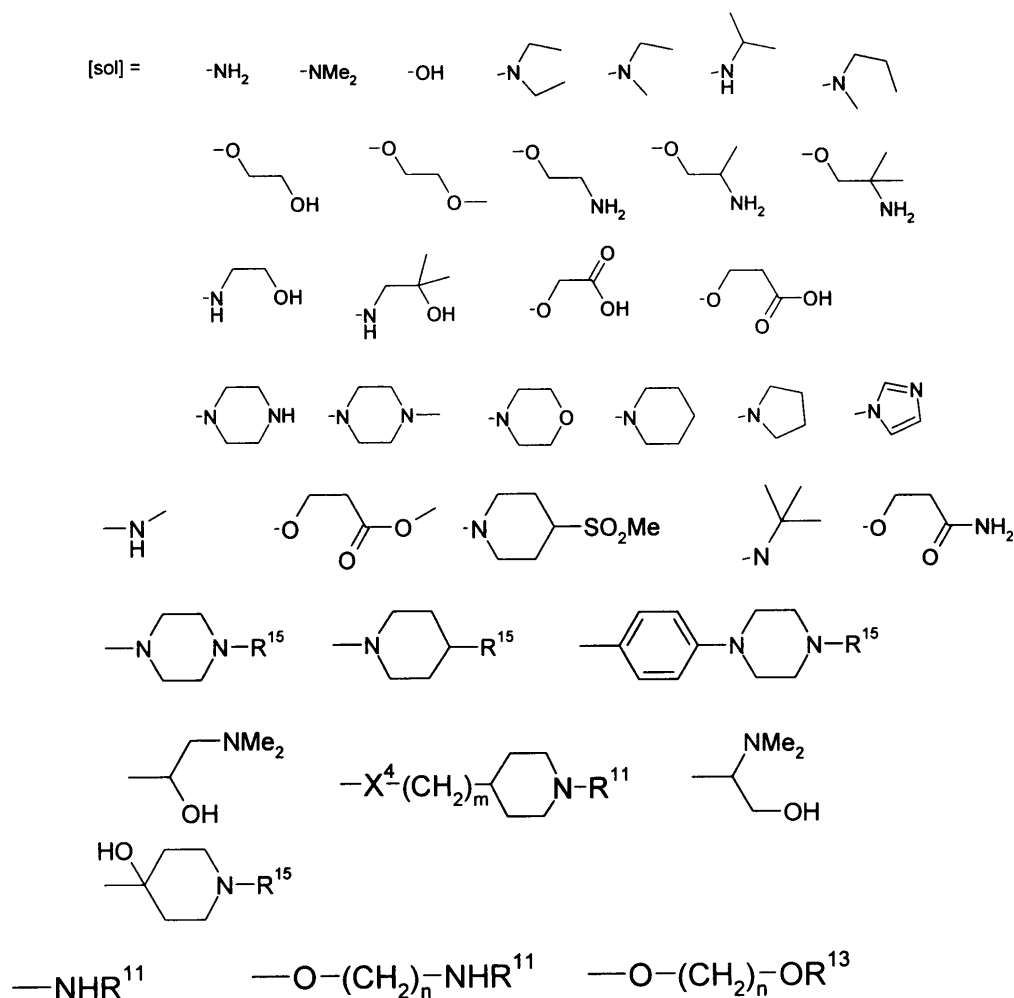
$CO_2 R^{14}$ （ここで、 R^{14} は水素または C_{1-6} アルキルである）；

ヒドロキシまたは C_{1-2} アルコキシにより場合により置換されている C_{1-4} アルキル；

ヒドロキシまたは C_{1-2} アルコキシにより場合により置換されている C_{1-4} アルコキシ；または

基 [sol]、 CH_2 [sol]、 $C(O)$ [sol]、 OCH_2CH_2 [sol] もしくは $OCH_2CH_2CH_2$ [sol] から選ばれ、ここで [sol] は、以下の基：

【化 1 5 8】



(ここで、 X^4 はNHまたはOであり、 m は0または1であり、 n は1、2または3であり、 R^{11} は水素、 COR^{12} 、 C(O)OR^{12} または R^{12} であり； R^{12} は C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、アリール、アリール- C_{1-6} アルキルまたは CH_2R^{15} であり；かつ、 R^{15} は水素、 C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、ヒドロキシ- C_{1-6} アルキル、ピペリジン、 N-C_{1-6} アルキルピペラジン、ピペラジン、モルホリン、 COR^{13} または C(O)OR^{13} から選ばれ；かつ、 R^{13} は C_{1-6} アルキルである)から選ばれる]

(23) R^8 が水素である、(9)～(22)のいずれかに記載の使用。

(24) R^{4a} が水素である、(9)～(23)のいずれかに記載の使用。

(25) R^3 がハロゲン、 C_{1-5} アルキル、 C_{2-5} アルケニルおよび C_{3-4} シクロアルキル基から選ばれる、(18)～(24)のいずれかに記載の使用。

(26) R^3 が塩素、臭素、シクロプロピルおよび分枝 C_{3-5} アルキルから選ばれる、(18)～(24)のいずれかに記載の使用。

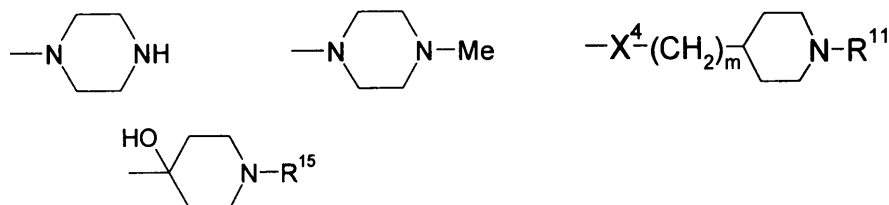
(27) R^3 がイソプロピルまたはtert-ブチルである、(26)に記載の使用。

(28) R^3 がイソプロピルである、(27)に記載の使用。

(29) n が1または2であり、かつ、 R^{10} が、

基[sol]または $\text{CH}_2[\text{sol}]$ (ここで[sol]は、以下の基：

【化 1 5 9】



[式中、 X^4 は NH または O であり、 m は 0 または 1 であり、 n は 1、2 または 3 であり、 R^{11} は水素、 COR^{12} 、 $C(O)OR^{12}$ または R^{12} であり； R^{12} は C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、アリール、アリール- C_{1-6} アルキルまたは CH_2R^{15} であり；かつ、 R^{15} は水素、 C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、ヒドロキシ- C_{1-6} アルキル、ピペリジン、 $N-C_{1-6}$ アルキルピペラジン、ピペラジン、モルホリン、 COR^{13} または $C(O)OR^{13}$ から選ばれ、かつ R^{13} は C_{1-6} アルキルである] から選ばれる) からなる群の R^{10ccc} から選ばれる、(1) ~ (28) のいずれかに記載の使用。

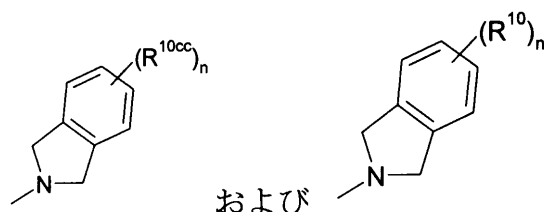
(30) n が 1、2 または 3 である、(1) ~ (29) のいずれかに記載の使用。

(31) n が 1 または 2 である、(30) に記載の使用。

(32) n が 1 である、(31) に記載の使用。

(33) 部分：

【化 1 6 0】



がここで表 2 に示される基 B 8、B 35、B 36、B 37、B 38、B 39、B 40、B 41、B 42、B 43、B 45、B 46、B 48、B 53、B 54、B 55、B 56、B 57、B 58、B 59、B 60、B 61、B 62、B 71、B 72、B 74、B 75、B 76、B 77、B 78、B 79、B 80、B 81、B 82、B 83、B 85、B 86、B 87、B 93、B 94、B 95、B 97、B 98、B 99、B 100 および B 101 から選択される、(20) ~ (28) のいずれかに記載の使用。

(34) 式 (VI) の化合物が、

(5 - クロロ - 2 - ヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン；

(3 - tert - ブチル - 4 - ヒドロキシ - フェニル) - (2 , 3 - ジヒドロ - インドール - 1 - イル) - メタノン；

(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン；

(3 - tert - ブチル - 4 - ヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン；

(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (4 - ヒドロキシ - 3 - イソプロピル - フェニル) - メタノン；

(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (5 - エチル - 2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - メタノン；

(5 - シクロプロピル - 2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン；

(5 - sec - ブチル - 2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン；

(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - メタノン ;
(5 - クロロ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
[5 - (3 - アミノ - プロポキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(5 - ブロモ - 2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - トリフルオロメチル - フェニル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - { 4 - [2 - (2 - メトキシ - エトキシ) - エトキシ] - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル } メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [4 - (2 - ジメチルアミノ - エトキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [4 - (3 - モルホリン - 4 - イル - プロポキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] メタノン ;
(3 - s e c - ブチル - 4 - ヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(5 - t e r t - ブチル - 2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(5 - クロロ - 2 , 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - (1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 - ヒドロキシ - 5 - イソプロピル - 4 - メトキシ - フェニル) - メタノン ;
(4 , 7 - ジフルオロ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - フルオロ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (3 - フルオロ - 2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 - フルオロ - 4 , 6 - ジヒドロキシ - 3 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (4 - フルオロ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン塩酸塩 ;
(5 - クロロ - 6 - メトキシ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソ - インドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (2 - メトキシ - エトキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (3 - モルホリン - 4 - イル - プロポキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (2 - ジメチルアミノ - エトキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(5 - アミノ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - メトキシ - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - モルホリン - 4 - イル - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;

2 - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - ベンゾイル) - 2 , 3 - ジヒドロ - 1
H - イソインドール - 5 - カルボン酸メチルエステル ;
2 - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - ベンゾイル) - 2 , 3 - ジヒドロ - 1
H - イソインドール - 5 - カルボン酸 ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - モルホリン - 4 - イル
メチル - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
{ 3 - [2 - (2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - ベンゾイル) - 2 , 3 - ジヒ
ドロ - 1 H - イソインドール - 5 - イルオキシ] - プロピル } - カルバミン酸 t e r t -
ブチルエステル ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - メチル - 1 , 3 - ジヒ
ドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (2 - イソプロピルア
ミノ - エトキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
N - { 2 - [2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - ベンゾイル) - 2 , 3 - ジヒド
ロ - 1 H - イソインドール - 5 - イルオキシ] - エチル } - 2 - モルホリン - 4 - イル -
アセトアミド ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - ヒドロキシ - 1
- メチル - ピペリジン - 4 - イル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] -
メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - { 5 - [4 - (4 - メチル -
ピペラジン - 1 - イル) - ピペリジン - 1 - イル] - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール
- 2 - イル } - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - ピペラジン - 1
- イル - フェニル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (1 - ジメチルアミノ -
2 - ヒドロキシ - エチル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン
;
ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (2 - ジメチルアミノ - 1 - ヒド
ロキシ - エチル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (ピペラジン - 1 - カ
ルボニル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン塩酸塩 ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラ
ジン - 1 - イルメチル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [4 - (3 - モルホリン - 4
- イル - プロポキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] メタノン ;
[5 - (2 - アミノ - エトキシ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - (
2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - ヒドロキシ - 1 , 3 -
ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - { 5 - [4 - (2 - ヒドロキ
シ - エチル) - ピペラジン - 1 - イル] - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル
} - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - モルホリン - 4
- イル - ピペリジン - 1 - イル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メ
タノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (1 - メチル - ピペリ
ジン - 4 - イルアミノ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - イソプロピル -
ピペラジン - 1 - イル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - ピペラジン - 1 - イル

- 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
 4 - [2 - (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - ベンゾイル) - 2, 3 - ジヒドロ - 1H - イソインドール - 5 - イルアミノ] - ピペリジン - 1 - カルボン酸 t e r t - ブチルエステル ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (ピペリジン - 4 - イルアミノ) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [4 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [4 - (ピペリジン - 4 - イルアミノ) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - ジメチルアミノメチル - 1, 3 - ジヒドロイソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - カルボニル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - { 5 - [2 - (2, 2 - ジメチル - プロピルアミノ) - エトキシ] - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル } - メタノン ;
 [5 - (2 - シクロペンチルアミノ - エトキシ) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - ピペリジン - 1 - イルメチル - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - ヒドロキシピペリジン - 4 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (5 - クロロ - 2, 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] メタノン ;
 (5 - クロロ - 6 - ヒドロキシ - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (5 - クロロ - 2, 4 - ジヒドロキシ - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (2 - ジメチルアミノ - エトキシ) - 7 - メチル - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 ;

またはその塩、溶媒和物、N - オキシドもしくは互変異性体である、(1) に記載の使用。

(35) 前記化合物が、

(2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (2 - ジメチルアミノ - エトキシ) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - ヒドロキシ - 1 - メチル - ピペリジン - 4 - イル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イルメチル) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (1 - メチル - ピペリジン - 4 - イルアミノ) - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;
 (2, 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - ピペラジン - 1 - イル - 1, 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - メタノン ;

(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - (5 - ジメチルアミノメチル - 1 , 3 - ジヒドロイソインドール - 2 - イル) - メタノン ;

またはその塩、溶媒和物、N - オキシドもしくは互変異性体である、(3 4) に記載の使用。

(3 6) 前記化合物が、

(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - ヒドロキシ - 1 - メチル - ピペリジン - 4 - イル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;

(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;

(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (4 - メチル - ピペラジン - 1 - イルメチル) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;

(2 , 4 - ジヒドロキシ - 5 - イソプロピル - フェニル) - [5 - (1 - メチル - ピペリジン - 4 - イルアミノ) - 1 , 3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル] - メタノン ;

またはその塩、溶媒和物もしくは互変異性体を含む、(3 5) に記載の使用。

(3 7) 式 (V I) の化合物が、塩、溶媒和物またはN - オキシドの形態である、(1) ~ (3 6) のいずれかに記載の使用。

(3 8) 式 (V I) の化合物が、塩または溶媒和物の形態である、(1) ~ (3 6) のいずれかに記載の使用。

(3 9) 前記疼痛が、哺乳類における疾病または病態に関連する疼痛である (1) ~ (3 8) のいずれかに記載の使用。

(4 0) 疼痛の治療に用いるための、(1) ~ (3 6) のいずれかに定義される化合物。

(4 1) 疼痛を患う患者 (例えば、ヒトなどの哺乳類) における疼痛の低減または除去に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(4 2) 疼痛を患う患者 (例えば、ヒトなどの哺乳類) における疼痛の低減または除去に用いる薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(4 3) 痛覚、体性痛、内臓痛、急性疼痛、慢性疼痛、痛覚過敏、異痛症、術後疼痛、知覚過敏による疼痛、頭痛、炎症性疼痛 (リューマチ痛、歯痛、月経痛、および感染痛) 、神経学的疼痛、筋骨格系疼痛、癌性疼痛、および血管痛のうちのいずれか1つ以上の治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(4 4) 痛覚、体性痛、内臓痛、急性疼痛、慢性疼痛、痛覚過敏、異痛症、術後疼痛、知覚過敏による疼痛、頭痛、炎症性疼痛 (リューマチ痛、歯痛、月経痛、および感染痛) 、神経学的疼痛、筋骨格系疼痛、癌性疼痛、および血管痛のうちのいずれか1つ以上の治療に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(4 5) 患者 (例えば、ヒトなどの哺乳類) における疼痛の治療方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量で患者に投与することを含む方法。

(4 6) 疼痛を患う患者 (例えば、ヒトなどの哺乳類) における疼痛の低減または除去方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を疼痛を低減または除去するのに有効な量で患者に投与することを含む方法。

(4 7) 痛覚、体性痛、内臓痛、急性疼痛、慢性疼痛、痛覚過敏、異痛症、術後疼痛、知覚過敏による疼痛、頭痛、炎症性疼痛 (リューマチ痛、歯痛、月経痛、および感染痛) 、神経学的疼痛、筋骨格系疼痛、癌性疼痛、および血管痛のうちのいずれか1つ以上の治療方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量で患者に投与することを含む方法。

(4 8) 卒中の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(4 9) 卒中の予防または治療に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(5 0) 患者 (例えば、ヒトなどの哺乳類) における卒中の予防または治療方法であって

、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量で患者に投与することを含む方法。

(5 1) 神経保護剤として用いる薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(5 2) 神経保護剤として用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(5 3) 卒中を患う患者における神経損傷の防止または低減方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を神経保護に有効な量で患者に投与することを含む方法。

(5 4) 卒中の危険性がある患者、例えば、血管炎症、アテローム性動脈硬化症、動脈高血圧、糖尿病、高脂血症、および心房細動から選ばれる 1 つ以上の危険因子を示す患者における卒中の危険性の防止または低減用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(5 5) 卒中の危険性がある患者、例えば、血管炎症、アテローム性動脈硬化症、動脈高血圧、糖尿病、高脂血症、および心房細動から選ばれる 1 つ以上の危険因子を示す患者における卒中の危険性を防止または低減するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(5 6) 卒中の危険性がある患者、例えば、血管炎症、アテローム性動脈硬化症、動脈高血圧、糖尿病、高脂血症、および心房細動から選ばれる 1 つ以上の危険因子を示す患者における卒中の危険性の防止または低減方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量で患者に投与することを含む方法。

(5 7) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(5 8) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療用の薬剤を製造するための (1) ~ (3 8) のいずれかに記載の化合物の使用であって、当該病態または症状がアルツハイマー病、ハンチントン病、またはクロイツフェルト - ヤコブ病以外である使用。

(5 9) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療用の薬剤を製造するための (1) ~ (3 8) のいずれかに記載の化合物の使用であって、当該病態または症状が神経変性疾患以外である使用。

(6 0) 上昇したレベルの c d k 5 または p 3 5 を特徴とする病態または症状の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) いずれかに定義される化合物の使用。

(6 1) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療に用いるための化合物であって、当該病態または症状がアルツハイマー病、ハンチントン病、またはクロイツフェルト - ヤコブ病以外である、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(6 2) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療に用いるための化合物であって、当該病態または症状が神経変性疾患以外である、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(6 3) 上昇したレベルの c d k 5 または p 3 5 を特徴とする病態または症状の予防または治療に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(6 4) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療方法であって、当該病態または症状がアルツハイマー病、ハンチントン病、またはクロイツフェルト - ヤコブ病以外であり、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量でその必要のある患者に投与することを含む方法。

(6 5) c d k 5 または p 3 5 により仲介される病態または症状の予防または治療方法であって、当該病態または症状が神経変性疾患以外であり、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量でその必要のある患者に投与することを含む方法。

(6 6) 上昇したレベルの c d k 5 または p 3 5 を特徴とする病態または症状の予防また

は治療方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量でその必要のある患者に投与することを含む方法。

(6 7) アルツハイマー病、ハンチントン病、またはクロイツフェルト - ヤコブ病以外の末梢神経障害などの神経障害の予防または治療に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(6 8) アルツハイマー病、ハンチントン病、またはクロイツフェルト - ヤコブ病以外の末梢神経障害などの神経障害の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(6 9) アルツハイマー病、ハンチントン病、またはクロイツフェルト - ヤコブ病以外の末梢神経障害などの神経障害の予防または治療方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物を治療上有効な量でその必要のある患者に投与することを含む方法。

。
(7 0) 前記神経障害が神経変性疾患または症状以外である、(6 7) ~ (6 9) のいずれかに記載の使用のための化合物、使用、または方法。

(熱帯熱マラリア原虫による病態または症状以外の) 真菌性、原虫性、または寄生虫性の病態または症状の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(7 1) (熱帯熱マラリア原虫による病態または症状以外の) 真菌性、原虫性、または寄生虫性の病態または症状、例えば、H s p 9 0 に対する抗体反応を特徴とする病態または症状の予防または治療に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

。
(7 2) (熱帯熱マラリア原虫による病態または症状以外の) 真菌性、原虫性、または寄生虫性の病態または症状、例えば、H s p 9 0 に対する抗体反応を特徴とする病態または症状の予防または治療方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。

(7 3) 真菌性の病態または症状、例えば、H s p 9 0 に対する抗体反応を特徴とする病態または症状の予防または治療に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(7 4) 真菌性の病態または症状、例えば、H s p 9 0 に対する抗体反応を特徴とする病態または症状の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(7 5) 真菌性の病態または症状、例えば、H s p 9 0 に対する抗体反応を特徴とする病態または症状の予防または治療方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。

(7 6) 動物 (例えば、ヒトなどの哺乳類) の病原菌による感染の防止、阻止、または後退に用いるための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物。

(7 7) 動物 (例えば、ヒトなどの哺乳類) の病原菌による感染の防止、阻止、または後退のための薬剤を製造するための、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物の使用。

(7 8) 動物 (例えば、ヒトなどの哺乳類) の病原菌による感染の防止、阻止、または後退方法であって、(1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。

(7 9) 前記で示したいずれかの使用および方法のための、ここで定義される化合物。

(8 0) ここで定義される病態または症状のいずれかの予防または治療用の薬剤を製造するための、ここで定義される化合物の使用。

(8 1) (1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物と、抗真菌剤 (例えば、アゾール抗真菌剤) である補助化合物との組合せ。

(8 2) (1) ~ (3 8) のいずれかに定義される化合物と、抗真菌剤 (例えば、アゾール抗真菌剤) である補助化合物とを含む医薬組成物。

(8 3) 併用投与する抗真菌剤、抗原虫剤、または抗寄生虫剤 (好ましくは抗真菌剤) に

に対する耐性の発達の防止または低減に用いるための、(1)～(38)のいずれかに定義される化合物。

(84) 抗真菌剤に対する耐性の発達を防止または低減するための、抗真菌剤、抗原虫剤、または抗寄生虫剤（好ましくは抗真菌剤）との併用投与用の薬剤を製造するための、(1)～(38)のいずれかに定義される化合物の使用。

(85) 患者（例えば、ヒト患者）における抗真菌剤に対する耐性の発達の防止または低減方法であって、抗真菌剤、抗原虫剤、または抗寄生虫剤（好ましくは抗真菌剤）と(1)～(38)のいずれかに定義される化合物との組合せを患者に投与することを含む方法。

(86) ウイルス感染（またはウイルス性疾患）の予防または治療に用いるための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物。

(87) ウイルス感染（またはウイルス性疾患）の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物の使用。

(88) ウイルス感染（またはウイルス性疾患）の予防または治療方法であって、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。

(89) 宿主生物（例えば、哺乳類などの動物（例えば、ヒト））におけるウイルス複製の遮断または阻害に用いるための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物。

(90) 宿主生物（例えば、哺乳類などの動物（例えば、ヒト））におけるウイルス複製の遮断または阻害用の薬剤を製造するための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物の使用。

(91) 宿主生物（例えば、哺乳類などの動物（例えば、ヒト））におけるウイルス複製の遮断または阻害方法であって、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物を宿主生物に投与することを含む方法。

(92) アテローム性動脈硬化症の予防または治療のための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物。

(93) アテローム性動脈硬化症の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物の使用。

(94) アテローム性動脈硬化症の予防または治療方法であって、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。

(95) ユーイング肉腫の予防または治療のための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物。

(96) ユーイング肉腫の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物の使用。

(97) ユーイング肉腫の予防または治療方法であって、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。

(98) 紅斑性狼瘡の予防または治療のための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物。

(99) 紅斑性狼瘡の予防または治療用の薬剤を製造するための、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物の使用。

(100) 紅斑性狼瘡の予防または治療方法であって、(1)～(38)のいずれかに記載の化合物をその必要のある被験体に投与することを含む方法。